

報道関係各位

2021年7月5日  
株式会社サンシャインシティ

水族館&いきものを深堀！発見がいっぱい！  
いつでも、どこかで“何か”が起きている”サンシャイン水族館がお届けする

## いきものディスカバリー通信vol.2

### 「クラゲ特集-海月空感 1周年記念-」

いきものディスカバリー通信vol.2は、海月空感1周年を記念して「クラゲ特集」  
クラゲの生態や魅力、豆知識、水槽づくりの秘密のほか、記念イベントについてご紹介!!



2020年新設 海月空感「クラゲパノラマ」



2020年新設 海月空感「クラゲスクリーン」

サンシャイン水族館(東京・池袋、館長：丸山克志)は、昨年7月に誕生した新クラゲエリア「海月空感(くらげうかん)」のオープンから1周年を迎えます。クラゲたちが優雅に漂い、皆様に没入感やゆったり感をお届けしている癒しの空間ですが、新型コロナウイルスの影響でオープンが延期になるなど計画から大きく変更する必要がありました。今回はそんな知られざる海月空感誕生の裏側や海月空感の水槽に隠れた秘密、そしてまだまだ解明されていない不思議がいっぱいのクラゲの生態についてご紹介します。

### ●海月空感 特集●

#### ●海月空感とは・・・？

サンシャイン水族館では、2020年7月、これまでの飼育経験や知見をもとに、クラゲの魅力伝える新しい展示エリア「海月空感(くらげうかん)」が誕生しました。水槽の形状や水流、照明、音など空間全体にこだわり、クラゲの最大の魅力である浮遊感やゆったり感をより感じられるようになっています。クラゲの展示としては国内最大級となる約14mの横幅を持つミズクラゲの大水槽「クラゲパノラマ」、長く伸びる触手が美しいシーネットの仲間を鑑賞できる横幅約4mの「クラゲスクリーン」、今まで以上にクラゲに包まれる「クラゲトンネル」に加え、「クラゲルーペ」、「クラゲドロップ」、「夢幻海月(むげんくらげ)」の計6つの水槽が非日常空間を演出します。



クラゲトンネル



クラゲルーペ



クラゲドロップ



夢幻海月

#### 海月空感が直面した新型コロナウイルスの影響

2020年4月オープン予定であった海月空感ですが、緊急事態宣言の発令に伴う休館などでオープンは約3か月後の7月となりました。オープン日を延期することを決め、結果的に工期や水槽の調整部分に少し余裕ができましたが、クラゲを実際的水槽に入れられず、オープンの時点ではクラゲが想定より大きくならないなどの影響がありました。また、海外からのクラゲの搬入にも影響があり、一部展示変更せざるを得ませんでした。休業中は、感染リスクの分散のために、水槽担当者を2チームに分けての勤務とし、繁殖や水流をつくる部分での引継ぎなど、これまでに経験のなかった苦労がありました。オープンまでに想定していたクラゲの採集に関して、緊急事態宣言の発令に伴い遠方での採集ができず、水族館内での繁殖に力を入れるとともに、関係各所からの協力もあり、無事にオープンを迎えることができました。



※画像はイメージです。

## 海月空感のメイン水槽「クラゲパノラマ」完成までの裏側～アクリル搬入編～

2020年2月にタワークレーンを使用し、地上から屋上（10階レベル）まで深夜に搬入しました。大きなクラゲパノラマのアクリルは三分割になったもので、1日目は3枚のアクリルを10階までつり上げ（クレーンで吊り上げるのに約1時間）、仮置き。翌日以降1枚ずつ3夜で狭い館内を通り抜け、現場に搬入、設置し重合接着を行うことで、国内最大級(※)の横幅約14mの一枚の水槽アクリルが完成しました。



## 都心の屋上にある水族館だからこそその工夫 「クラゲパノラマ」水槽のこだわりの造りを知ってさらに楽しむ

ビルの屋上にある水族館という特殊な環境のサンシャイン水族館では、思わぬ部分で制限や条件が発生します。あらゆる条件をクリアしながら、お客様に圧倒的な癒しと没入感を提供できることを目指した「クラゲパノラマ」水槽は、多くのこだわりと、水族館スタッフの知見を詰め込み、幾度となく試行錯誤を繰り返し完成した、国内最大級(※)の横幅を持つクラゲ水槽です。(※)2020年6月25日時点、サンシャイン水族館調べ

### ●クラゲ特集●

#### ●クラゲの生態

クラゲは、刺胞（しほう）動物と呼ばれる生き物のうち、淡水または海水で水の流りに身を任せてふわふわと浮遊して暮らす生き物の総称です。イソギンチャクやサンゴの仲間でもあります。また、クラゲは刺すものというイメージがあるかもしれませんが、刺胞を持たない有櫛（ゆうしつ）動物なども総称的にクラゲと呼ぶこともあります。

#### 刺胞（しほう）動物・・・!?

刺胞動物は、触手の表面にある刺胞という袋の中に毒針があり、触手に触れた相手を刺して麻痺させます。人に被害を与えるクラゲはごく一部で、アンドンクラゲやカツオノエボシなどはその代表例。クラゲに刺されると、しびれたり腫れたり、ひどいときは筋肉の麻痺や呼吸困難を引き起こすこともあります。ちなみに、クラゲには脳も心臓もありません。ただし、目は傘の縁にあり、明るさなどを感じることはできるようです。

#### 有櫛（ゆうしつ）動物・・・!?

有櫛動物には毒のある刺胞はなく、触手に粘着細胞という粘着力のある物質を出す部分があります。これを使って、小さな動物プランクトンなどの獲物を捕まえて食べるのが特徴です。カブトクラゲがこれにあたります。他のクラゲを丸のみにして食べるウリクラゲというクラゲもいます。

#### 【クラゲパノラマ】

##### 国内最大級(※)の横幅

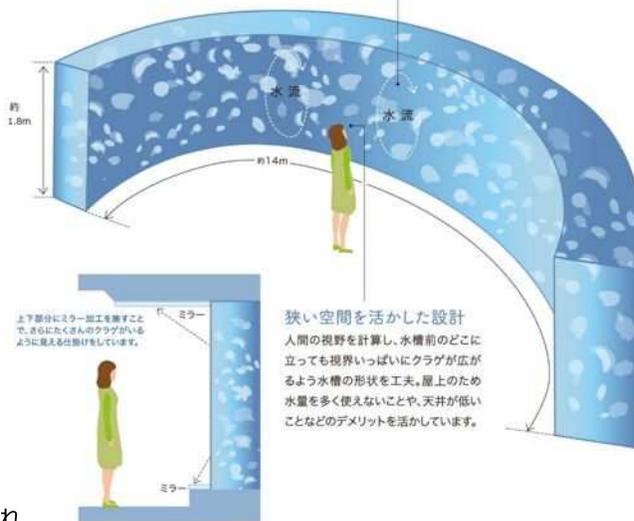
水量約40t・横幅14m・高さ約1.8mの巨大水槽で、ミズクラゲを展示しています。特徴は大きく弧を描いた形状。クラゲが視界いっぱいに広がり、海の中の包容感を体感できる設計になっています。太陽の光をイメージした大水槽「サンシャインラウン」とは対照的に、暗い海の中を表現しました。

##### 流動的な水流の秘密は配管の数

上に向かってループする水流のついで、クラゲが立体的に絶えずゆかれます。水槽が大きく弧を描いているため、多数の配管が複雑に張り巡らされて水流をつくりだしています。その数はサンシャイン水族館史上最多の約40本にもなります。

##### 心を癒すミズクラゲを採用

ミズクラゲを選んだ理由は、ふわふわと優雅に漂う姿が人々の心を癒すため。水流のついでに漂うクラゲは、広く無限に続く海中を感じさせます。少ない水量で飼育可能なことも、水量制限のあるサンシャイン水族館にとってはメリットです。



アカクラゲ（刺胞動物）



カブトクラゲ（有櫛動物）



報道関係者様からの  
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦  
TEL.03-3989-3329（平日9:30～18:00） FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋  
TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

## ●知ったら話したくなる豆知識

### エサを食べた後のミズクラゲに注目！

サンシャイン水族館のクラゲたちが食べているのは、主に小さな動物プランクトンのアルテミア。成体でも体長1mm前後の小さい生き物です。

アルテミアは乾燥状態での長期保存を目的として卵の状態でストックされているため、海水に戻して24時間かけて孵化させなくてはなりません。その後、アルテミアと卵の殻の分離作業などもあり、飼育スタッフは2日ばかりでエサの準備をしています。

ちなみに、クラゲの中にはクラゲを食べる種類もいるため、クラゲをエサとして与えることもあります。エサがまかれてしばらくしたら、ミズクラゲの傘の中央、四つ葉のクローバーのように見える胃に注目してみてください。普段は白い胃が、食べた物の色によって変化するのがわかります。アルテミアを食べるとオレンジ色に変化するので、チェックしてみてください。



アルテミア

## ●クラゲエリア「海月空感」のクラゲたち ※時期により変動あり

### ★ミズクラゲ

北海道から沖縄まで見られる最もポピュラーなクラゲです。一年の中で春先から夏終わりにかけて海で沢山見ることができ、場所によっては年中見ることができます。

生まれたてのミズクラゲは直径2～3mm程ですが、成長すると最大で30cm以上にもなります。また、ミズクラゲは胃が4つあることから、「ヨツメクラゲ」とも言われます。

ふわふわとゆったりとした動きは見てしていると癒され、ヒーリング効果もあると言われています。



### ★シーネットルの仲間

#### ・アカクラゲ

北海道以南の日本沿岸で見られるクラゲです。春から初夏、秋に見られるクラゲで、赤い傘と長い触手が特徴です。毒性が強く、刺されると強い痛みが走ります。



#### ・インドネシアシーネットル

中国および東南アジアで見られるクラゲです。シーネットルとは「海のイラクサ」という意味で、イラクサとは毒の棘のある雑草のことです。インドネシアシーネットルは傘の大きさが10～20cmほどの大型のクラゲです。口腕は長くフリルのようなリボン状をしており、泳いでいる姿はとても優雅で綺麗です。毒のある触手は24～40本ほどあり、エサとなるプランクトン、小魚、小型の甲殻類などを捕まえます。



クラゲの注目ポイント

取り込まれた餌が胃に運ばれています。そのため、透明だった胃が餌の色のオレンジ色に変わっています

餌を捕まえるための口腕に餌のアルテミアがついています！

### ★ブルーゼリー

インド洋～太平洋で見られるクラゲで、タコクラゲに近い種類で、暖かな海域に生息しています。体色には青、白、赤紫などのパリエーションがあります。よく拍動し、遊泳力があります。



## ●クラゲ担当スタッフが語る！クラゲの魅力



サンシャイン水族館  
クラゲ担当飼育スタッフ  
先山広輝 (さきやま ひろき)

クラゲの飼育は本当に奥が深く、難しいです。特にサンシャイン水族館のような特殊形状の水槽での飼育は水流の調整や、クラゲのバックヤードでの蓄養などとても気を付けることが多いです。

水流を調整して、全体的にまんべんなくクラゲがいる状態にするだけでも一苦労。一か所の調整が全体に影響を及ぼすことなどもあり、数日かけて水流を調整することなどもあります。

大変な分、やりがいもあります。これからもクラゲの魅力を伝えられるよう色々なクラゲの展示に挑戦していくので、サンシャイン水族館のクラゲの展示を楽しみにしてください！

※画像はイメージです。

報道関係者様からの  
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・鳴海・平田・大浦  
TEL.03-3989-3329 (平日9:30～18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部9部 内山・前山・高橋  
TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp